

県スポーツ優秀賞表彰式に樋口清輝、津田ひかる選手2名が出席! 2月18日 熊本県庁

国内外で活躍している県関係選手を称える県スポーツ優秀賞の表彰式が18日、県庁で行われ、75名が表彰を受けた。テコンドーからは、2月の全日本選手権で優勝した樋口清輝選手、津田ひかる選手の2名が表彰された。蒲島郁夫知事からお祝いの挨拶があり、県選手の健闘を称えた。

県スポーツ優秀賞表彰式



第2回黒帯研修会に21名が参加! 3月6日 託麻北地域コミュニティセンター

黒帯取得者の育成を目的として昨年より開催している黒帯研修会、第2回の今回は、ジュニアから一般までの21名が受講した。県協会では、これから更なる普及は、このような研修会を数多く開催し、一人でも多くの質の高い有段者、指導者を育成することが重要と講師の樋口会長は語った。黒帯としての心構え、テコンドーの歴史、基本、ブンセ等、約5時間に亘り行われた。



県協会トレーナー木村貴秀先生めでたく挙式! 3月20日 ニュースカイホテル

県協会公認トレーナー「木村貴秀」先生の結婚披露宴が、熊本市内のホテルで盛大に行われ新郎新婦を祝福した。県協会からは、樋口協会長を始め津田常任理事、西村阿蘇支部長、樋口清輝、津田ひかるの選手出席、樋口、津田選手のテコンドー演武も華を添えた。木村夫妻の末長いお幸せを祈念いたします。



披露宴の様子

春季昇級審査会開かる! 4月3日 県民運動公園体育館

平成23年度の協会行事の最初となる「春季昇級審査会」は、県内各道場、大學生クラブ等から88名が受験し、基本動作、ブンセ、キヨルギに日頃の練習の成果を遺憾なく発揮していた。

審査開始前には、会場に詰めかけた指導者、受験者、保護者にて3月11日に発生した東日本大震災で亡くなられた多くの方々への默祷を行い、また、義援金を募り県体育協会を通じて被災地へ届けることとなった。



審査会の様子

西村純選手、韓国豊生高ヘテコンドー留学

阿蘇支部員で、選手強化指定選手（ジュニア）の西村純選手（一の宮中学卒）は、3月23日から、韓国テコンドーの名門校である、城南市の豊生高校ヘテコンドー留学を果たした。

韓国の高校では、常にトップクラスの豊生高、その練習は想像を絶すると言うが、あえて試練に立ち向かう西村選手にエールを贈りたい。父である、阿蘇支部長の紀幸氏、同校の卒業生である樋口清輝選手も共に訪韓し、校長先生、李キヨンペ師範と面談、今年3月まで在籍した長野幹洋選手とさっそく練習に汗を流した。純選手の今後の活躍を期待したい。



李キヨンペ先生と西村純選手

東日本大震災へ義援金!

この度、県協会では東日本大震災に際し、樋口清輝選手等が各支部を周り特別指導を実施。その参加費を全額、義援金として被災地へ贈ることとなり、託麻、合志、阿蘇、不知火支部、大津支部等を周り、先の昇級審査で集めた義援金や、協会からの支援金、富合支部からの支援金等を合わせた総額103,149円を熊本県体育協会を通じて被災地へ届けることとなつた。

ご協力頂いた皆様には厚く感謝申し上げると共に、被災地への早急なる復興を祈りたい。



チャリティー隊団体

テコンドーくまもと Vol.34

TAEKWONDO KUMAMOTO 2011.1 ▶ 2011.4



県本部会場

全日本選手権大会

津田ひかる2連覇 牧野信一準優勝 3位入賞2名の県勢大健闘!

2月20日 東京駒沢オリンピック公園室内球技場



熊本選手団



津田ひかる選手

男子-54kg級 渡辺雄二（学園大）
1回戦 4-3 富岡（東京）
2回戦 7-9 新島（大阪）

男子-63kg級 中山北斗（学園大）
1回戦 3-2 大原（東京）
2回戦 1-3 弦弓（東京）

男子-68kg級 松本宇生（熊大）
1回戦 1-3 潟戸上（大阪）

男子-68kg級 横口清輝（県協会）
1回戦 3-1 山口（大阪）
2回戦 12-0 山下（大阪）
準決勝 0-1 黒沢（東京）

男子-74kg級 阪上弘一（学士大）
1回戦 6-0 永井（大阪）
2回戦 11-0 後藤（千葉）
準決勝 0-1 長野（大分）

男子-87kg級 牧野信一（玉名）
準決勝 4-0 筒井（大分）
決勝 1-10 有田（大阪）

優勝 女子-46kg級 津田ひかる（阿蘇）
1回戦 10-0 後藤（東京）
3回戦 4-0 吉本（東京）
準決勝 2-0 松井（神奈川）

女子-57kg級 本田千尋（阿蘇）
1回戦 4-0 カドグナ（愛知）
2回戦 3-7 藤祐（大阪）

決勝 6-5 富安（佐賀）

男子-57kg級 本田千尋（阿蘇）
1回戦 4-0 カドグナ（愛知）
2回戦 3-7 藤祐（大阪）

決勝 6-5 富安（佐賀）

男子-63kg級 本田千尋（阿蘇）
1回戦 4-0 カドグナ（愛知）
2回戦 3-7 藤祐（大阪）

決勝 6-5 富安（佐賀）

男子-68kg級 横口清輝（県協会）
1回戦 3-1 山口（大阪）
2回戦 12-0 山下（大阪）
準決勝 0-1 黒沢（東京）

決勝 1-10 有田（大阪）

第11回城北地区大会開催される! 2月27日 合志市ヴィープル

第11回城北地区大会は、阿蘇・大津・菊池・玉名・合志の城北地区各支部及びオープン参加の県内各支部から59名が参加して、ブンセ・キヨルギの二競技で開催された。

開会式では、20日に東京で開催された全日本選手権大会で優勝した津田ひかる選手、準優勝の牧野信一選手、3位入賞の阪上弘一選手にそれぞれ花束が贈られた。また、3月から韓国、豊生高にテコンドー留学が決定している阿蘇支部の西村純選手の紹介もあった。試合は、ジュニア選手のレベルが一段と躍立つ内容が多く、ブンセ競技では、託麻支部、キヨルギでは、阿蘇支部の活躍が目立つ大会となつた。

ブムセ	キヨルギ
個人ブムセの部 10歳~7級 優勝	峰 吉佳(合志)
個人ブムセの部 6歳~1級 優勝	岸 信樹(託麻)
個人ブムセの部 3歳~1級 優勝	徳永 雅樹(託麻)
団体ブムセの部 優勝	託麻 A チーム
中学男子小・中年重量の部 優勝	飛田 大樹(託麻)
中学男子小・中年重量の部 優勝	愛斗(阿蘇)
中学男子小・中年重量の部 優勝	飛田 大樹(阿蘇)
小学男子小・中年重量の部 優勝	宮田 里香子(川尻)
小学男子小・中年重量の部 優勝	山本 悠菜(阿蘇)
小学男子4~4年重量の部 優勝	山本 悠菜(託麻)
小学男子4~4年重量の部 優勝	野田 祐太(川尻)
小学男子4~4年重量の部 優勝	大畑 光誠(熊大)
小学男子6~6年重量の部 優勝	山口 裕輝(宇土)
小学男子6~6年重量の部 優勝	一般男子~55kg 級 優勝
小学男子6~6年重量の部 優勝	一般男子~63kg 級 優勝
小学男子6~6年重量の部 優勝	一般男子~68kg 級 優勝
小学男子6~6年重量の部 優勝	広瀬 開(筑城)
小学男子5~6年重量の部 優勝	徳永 雅樹(託麻)

※大会結果の詳細はホームページに掲載



全日本入賞者の挨拶



記念撮影



キヨルギ



最優秀選手賞 飛田 優斗選手

カササギ杯テコンドー大会6階級でV! 3月27日 佐賀市県立体育館

佐賀県協会(牟田靖文会長)が主催する「第5回カササギ杯テコンドー選手権大会」は、この程、佐賀市県立体育館に165名の選手が参加して開催された。県協会からは、阿蘇支部、武道館支部、不知火支部などから11名の選手が出席し、6階級で優勝、2階級で準優勝3位入賞2名の好成績を収めた。

試合結果 小学3年生男子 重量級 優勝 住 大輔(阿蘇)	小学3年生女子 重量級 優勝(敬賀賞)米田 俊(阿蘇)
小学4年生男子 重量級 優勝 徳永 修斗(阿蘇)	小学4年生男子 重量級 優勝 廣田 基栄(武道館)
小学5年生男子 重量級 優勝 廣田 龍信(武道館)	中学生男子 重量級 優勝(技能賞)西田 亮(不知火)



試合風景

西田 亮選手、中学生重量級でV! 妹 尚選手は準V NPO 法人日本テコンドー普及会大会 4月17日 福岡市早良体育館



テコンドーアカデミー緒江代表と



試合風景

NPO 法人日本テコンドー普及会(緒江順一会長)が、毎年主催する大会だが、今年も県協会から不知火支部の2名が参加し、共に入賞した。大会には福岡を中心として111名の選手が集い熱戦を繰り広げた。

西田亮選手は、中学2年重量級に出場、準決勝、12対3(福岡)、決勝9対0(福岡)と大差で勝利。妹、尚選手は、小学女子5~6年合同級に出場1回戦サンドレス、準決勝12対9(佐賀)迎えた決勝は、惜しくも佐賀の選手に3対4の1ポイントで敗れたが、兄妹揃っての入賞は嬉しい限りだ。二人の健闘を称えたい。

平成23年度第1回選手強化合宿開催 1月8~9日 熊本学園大テコンドー部道場

平成23年度の年頭、選手強化委員会主催による強化合宿が県強化選手に加え、長崎、福岡、大分からの選手も参加して2日間に亘り行われた。来月は全日本選手権もあり、参加した選手は正月気分もそこそこに、基本、ミット蹴り、キヨルギ等に真剣に取り組んでいた。



合宿風景

熊本大学テコンドー部、いぶすき菜の花マラソンに参加 1月9日 鹿児島指宿市

熊本大学テコンドー部12名が、第30回いぶすき菜の花マラソンに参加した。参加者総数は2万人を超え、コースも国内屈指の難コースながら、スタートラインからゴールまで切れ目の無い沿道での応援や、あたたかい豚汁、おしるこなどのサービスもありテコンドーPRもかねた道衣姿での力走に、企画した金村康正コーチも満足の様子。九州最大の池田湖を横目に薩摩富士と呼ばれる開聞岳へ向って走り金村コーチ始め、大学生全員が5時間半~6時間と初フルマラソンを無事に完走した。

1人1人が肉体的にも精神的にも成長し得るものが多く、大学生活の記念に残る思いでのマラソン大会となつた。今後も熊大テコンドー部の伝統行事にして行くとのこと。お疲れ様でした。



熊本オープンでの西村選手(青)

2010ジュニア日本一、西村 純選手 ココ Smile(熊本県民テレビ)で紹介される

阿蘇支部の西村純選手が、昨年12月12日、KKT 熊本県民テレビのバラエティ番組、ココ Smile のココスボコーナーで紹介された。

取材は、宮地小学校体育館で行われ、純選手のインタビューや練習風景等約8分に亘って行われた。



会議風景

平成23年度・支部長会議開かる 1月15日 県協会本部

本年度の支部長会議は、年間行事計画を中心に約3時間に亘って行われた。この日は今年一番の寒さとなったが、積雪、道路凍結のため阿蘇から約1時間半かけ電車で出席した西村紀幸支部長をはじめとして、寒い中、また大学センター試験等で渋滞も重なる中ではあるが、本年最初となる会議へ出席した各支部長の意気込みが感じられる会議となり、閉会は夜10時を過ぎていた。

「平成22年全国・国際スポーツ大会優勝報告会」に 県テコンドー四選手出席!

1月16日 ホテル日航熊本

熊本県体育協会の主催で行われる「全国・国際スポーツ大会優勝報告会」は、この程、ホテル日航熊本に関係者約230名が出席して盛大に開催された。

昨年1月から12月までの全国・国際大会で優勝した20競技121名の個人・団体の報告が行われた。テコンドー協会からは、2月の全日本選手権で優勝した阪上弘一選手、西村純選手の4名が出席、一人一人紹介された。

永野光哉県体育協会会長の挨拶の後、アテネ、北京五輪で金メダルに輝いた内柴正人氏による激励の挨拶等もあり、終始和やかなお祝いの宴となつた。



全国・国際スポーツ大会優勝報告会